

# 成沢学区

発行 成沢学区  
コミュニティ  
推進會  
「ふれあい」

責任者 西 英信  
発行者 広 報 部

## 成沢交流センターがリフレッシュ！ 外壁・屋根・雨樋改修、他

### 外装・屋根などを一新

交流センターの外壁等改修工事が完了し、1月中旬から新しい新装に使用が開始されました。  
長年の使用で各所に損傷や不具合が見られ、今回、建物の外周全般について改修が計画されました。10月初旬から



足場仮設が始まり、外壁の洗浄や補修を経て再塗装が行われました。また、屋根瓦や雨樋も改修・再塗装され、建物全体の外観が見違えるようになり一新されました。  
利用者からは「内外ともきれいになり気持ちよく使っています」と好評です。

### 室内装備は昨年実施

昨年の改修では、1、2階とも室内のレイアウトを変更して、トイレの温便座、



ホームページも再構築へ  
一方、懸案のホームページは市の指導で各コミュニティが共通のフォームを使って情報を編集・構築する方式を採用することになりました。ホームページの更新・維持が容易になるほかスマートホンからも入力や検索ができます。システムは来年度からの公開をめざして開発中です。

6年度ふれあい総会の案内  
日時 4月14日(日)9時  
場所 交流センター1号室  
役員、推進委員は出席下さい

## お元気さん紹介⑮ 西成沢町 樋熊豊さん 鍛えた芸が支える健やかな人生！



2月4日の新春能楽発表会に地謡で3曲出演した豊さん(94歳)。しゃきつとには驚きです。

北茨城市で生まれ小4から日立に。6人兄弟の末っ子で足が速かった。大学を出て東京で勤めたのち日立に戻り、親戚が経営する旭製作所に就職。生徒動員でフライス盤の経験もあり、大物製作現場での実務や営業管理に精励する。兄の縁で高崎出身の奥様と28歳で結婚、山の神団地の持ち家に転居して55年が過ぎました。

仕事に慣れた頃、少年期に兄弟の嗜みを見聞きしていたことから謡曲への関心が高まり、観世流の先生に師事。日立と東京の能楽堂などで謡曲や仕舞の稽古、発表に励み、そのたゆまない努力は「九番」という免状に実ります。習い始めて67年、現在も日立市能楽

会幹事や公演のほか、藤宵会での指導もボランティアとして活動し、生きがいになっていきます。  
70歳で退職してから本格的に始めた趣味は、絵手紙から油絵へ。画題は風景、静物、人物、能楽など多彩で、20〜30号キャンバス1枚を半年がかりで仕上げ、作品は市展に出品してきました。

お元気の素は今も欠かさない運動習慣(ラジオ体操や団地内のウォーキング)、それに謡曲独特の抑揚ある発声法で鍛えられた喉にあるようです。奥様の料理を感謝して食べ、酒、たばこも絶ち、日記でストレスを貯めない毎日を過ごす。カラオケ会の復活も待ち遠しい。定年後の夫婦旅はマイカーを92歳で手放したため、その後はバスでの事。

健康長寿百年を目標すお二人にエールを送ります。



# 楽寿会はつらつ！

## グラウンドゴルフ大会



2月9日(金)午前、成沢楽寿連合会主催の第3回グラウンドゴルフ大会が諏訪スポーツ広場で開かれ、会員26人が参加しました。矢吹会長の挨拶、渋谷幹事のルール説明とラジオ体操のあと、3ゲーム24ホールのストロークプレーで行われました。整地された砂地の上に設定された8コースには傾斜や凸凹、石ころの障害があり、ベテランも思うようには攻略できず言い訳と笑いのプレーが続きます。最年長は卒寿間近の大町しつ江さん、10年以上続けてきたプレーはみごとでした。優勝は高村洋子さんと篠原昭裕さん。

# みんなで楽しく！ボウリング大会

## 成沢地区体育振興会

第11回ボウリング大会が2月10日(土)日立ボウルクレインにて開催されました。22名が参加し、シルバーの部(79歳以上、75歳以上)、一般の部の3区分でハンディ制により行われ、真剣かつ和やかにプレーの中、ストライクやスペアが出るたびに大歓声で盛り上がりました。

全員に参加賞が贈られたほか、79歳以上の部では高橋サキさん、75歳以上の部では齋藤恒廣さん、一般の部では西脇美穂子さんが、それぞれ優勝しました。



# 今年も羽鳥湖スキーツアー実施

1月13日(土)成沢学区子ども会育成連合会主催の第6回スキーツアーが昨年に続き福島県羽鳥湖スキー場で実施されました。小3〜6の8名に保護者4名、引率・指導者5名の総勢17名が参加し、参加児童の内5名が初スキーでした。

白一色のグレンデで、熱い指導もあり全員が滑れるようになり、リフトにも乗れるようになった。参加者からも「すごく楽しかった！」の声が多く、来年も実施することです。



# こんにゃく作り講習会

瀬谷正義さんのこんにゃく作り講習会(2回目)が1月27日、成沢交流センターで開かれました。参加者16名中経験者は7名で、申し込みが半日で定員に達する人気。作り方の流れとポイントの説明を受けた後、1kg大のこんにゃく芋の皮むきからスタート。芋を細切りにしてぬるま湯とともにミキサーにかけ、大鍋で焦げ付かないようにかき混ぜながら半透明の糊状になるまで煮詰め、「こんにゃく素(炭酸ナトリウム)」を混ぜ込んだらトレーに移して平らに押し延ばし、冷えて固まるまで待つ。

仕上げは、固まったこんにゃくを長方形に切り分け、再び大鍋で茹でて、浮き上がって10分したら冷水に浸しアクを抜いて完成です。出来立ての温かい刺身こんにゃくを生姜で味わい、貴重な手作り体験に皆さん大満足でした。



# 事務局からのお願い

- ① 令和5年度決算及び6年度予算案の提出
  - ② 自主グループの登録(継続、新規とも)
  - ③ 令和6年度支部役員、推進委員などの登録
  - ④ 再生资源回収還元金
- 令和5年度から「ふれあい」の収入としており、町内会などへの還元はありません

# ◆編集後記

●年始早々、能登半島地震が発生し正月気分も吹っ飛んだ。市内でも昨年、中小河川が氾濫した。地理的に土砂崩れなどの心配もあり、普段からの準備や訓練の重要性を再認識させられた。

●交流センターが外装、屋根などのリフレッシュを終わった。コロナ禍前のように賑わいの拠点として活用を拡げていきたい。